

主催
國學院大學
國學院大學院友会

令和8年度

公開古典講座

『萬葉集』 「卷十七」 を読む

【1講目】 9:30~10:50 【2講目】 11:05~12:25

家持と鳥①ホトトギスとウグイス/家持と鳥②鷹の歌
國學院大學教授 土佐 秀里

7/25
(土)

詠物歌と歌友書持
東京大学名誉教授 鉄野 昌弘

越の旅びと、家持
奈良女子大学教授 奥村 和美

7/26
(日)

①祓いと宴と一家持と池主の漢詩を読む—
②越中国司巡行の旅—風土へのまなざし—
國學院大學教授(特別専任) 上野 誠

7/27
(月)

大伴家持への恋の歌12首
—平群氏女郎の歌—
二松学舎大学教授 塩沢 一平

大伴坂上郎女の祈り
慶應義塾大学教授 新沢 典子

7/28
(火)

越中国の山をよむ—二上山と立山 (1)
越中国の山をよむ—二上山と立山 (2)
國學院大學教授 大石 泰夫

7/29
(水)

『源氏物語』 「帚木」 卷 (前半) を読む

【1講目】 13:10~14:30 【2講目】 14:45~16:05

①② [講読1] 雨夜の品定めのはじまり
國學院大學教授 小田 勝

①② [講読2] 左馬頭による女性論
國學院大學栃木短期大学教授 津島 昭宏

「帚木」 卷の和歌
—雨夜の品定めにおける
和歌観—
國學院大學准教授 荒木 優也

「帚木」 卷の装束
—雨夜の品定めにおける場
と装束—
愛知文教大学准教授 畠山 大二郎

①② [講読3] 指食いの女と木枯らしの女
学習院大学准教授 春日 美穂

①② [講読4] 常夏の女と蒜食いの女
國學院大學教授 竹内 正彦

【到達目標】 『萬葉集』

- ・万葉集の卷十七を精読することによって、日本古典文学の代表的作品である万葉集について、深い理解が得られるようになる。
- ・現在学界の最先端で活躍する一流の万葉研究者による講演を聞くことで、最新の知見を得られるとともに、万葉集に対する理解認識がより深いものとなる。
- ・古典文学を読むことを通して、日本語と日本文化についての認識を深めることができる。

【到達目標】 『源氏物語』

- ・多角的な視点から、『源氏物語』の表現世界を理解することができる。
- ・『源氏物語』の読解を通して、日本古典文学や日本文化について興味をもつことができる。

申込締切

令和8年7月15日 (水) 必着

定員

萬葉集200名・源氏物語200名 ※先着順受付

受講料

各講座 | 講座(萬葉集・源氏物語) 1日3,000円
(一部割引が適応される場合がございます。)

会場

國學院大學渋谷キャンパス
学術メディアセンター1階 常磐松ホール

7/25 (土) ▶ 29 (水)

問合せ・資料請求先

國學院大學エクステンションセンター
開室 時間：月～土 午前9時～午後5時
TEL：03-5466-0270 FAX：03-5466-0394
e-mail：jigyuu@kokugakuin.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

申込方法



公開講座専用サイト

- ①Web申込：右記QRコード(公開講座専用サイト)からお申し込みください。
- ②FAX・郵送による申込

別紙の「公開古典講座申込書」に必要事項を記入の上、お申し込みください。

*詳細は、別紙「公開古典講座申込書」をご確認ください。

*別紙「公開古典講座申込書」がお手元になく、必要な場合はエクステンションセンターまでご請求ください。

*一度納入された受講料は払い戻しできませんので予めご了承ください。

*期限を過ぎてからのお申し込みはできかねます。当日受付も実施いたしません。

申し込み後の入金確認ができ次第、順次受講証をお送りします。

*國學院大學では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努めています。

*自動車、バイク、自転車等での来校は、駐車場所がなく、近隣のご迷惑となりますのでお断りいたします。

*学内の冷房は適温に努めておりますが、体感温度には個人差があります。温度調節のできる服装でおこしください。

*講座の撮影、録画、録音は禁止しております。

*当日は関連書籍の販売もございます。

アクセス

渋谷キャンパス



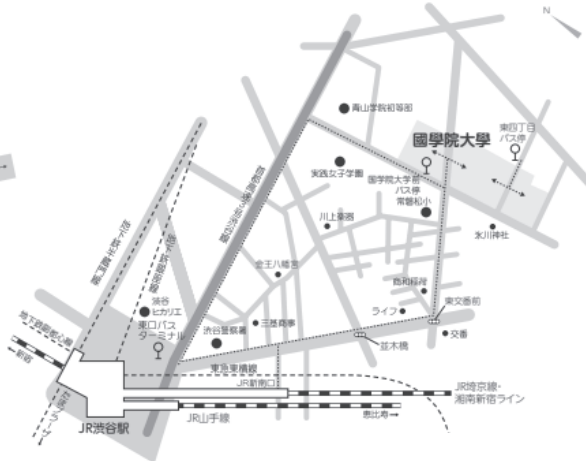
案内図

所在地

●〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

交通アクセス

- 渋谷駅(JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線)から徒歩約13分
- 渋谷駅(JR埼京線・湘南新宿ライン) 新南口から徒歩約10分
- 都営バス(渋谷駅東口54番のりば) 学03日赤医療センター行「国学院大学前」下車(運賃180円) IC178円



当日の講座を撮影し、オンラインで配信いたします。
9月中旬頃から配信予定です。(詳細は随時HPにてお知らせします。)

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學